

事務事業名		佐野市国土基本図修正事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	計画係	担当課長名	越石 彰	
	施策	1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 地域の特性を活かした土地利用の推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11441	一般	8	4	1	佐野市国土基本図修正事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	26年度～27年度		根拠法令 条例等	測量法、国土調査法		実施方法		一部委託	
								事業分類		その他市民に対する事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度に作成した佐野市の国土基本図の全面的な修正作業を実施する。 また、新技術による撮影成果を用いて、地形データをデジタルマッピングにて取得する。 			<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度に本市が作成した国土基本図(1/2,500)、並びに地形図(1/10,000)の経年変化箇所を航空写真測量により修正し、データの更新を行った。 							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			業務委託	件		1	1			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度作成の国土基本図 			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			平成17年度作成の国土基本図	枚		91	91			
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> 最新の現況を反映した国土基本図に修正する。 			最新の国土基本図	枚		83	83			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> 特性を活かした地域づくりが推進されている。 			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			居住地区の街並みが良好だと感じている市民の割合	%		56.6	59.0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		64,606	11,000					
	事業費計(A)	千円	0	64,606	11,000	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					業務委託料	64,606	業務委託料	11,000		
	人件	正規職員従事人数	人	2		2				
のべ業務時間	時間	500		200						
人件費	人件費計(B)	千円	0	1,971	788	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	66,577	11,788	0	0	0	0		

事務事業名	佐野市国土基本図修正事業	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・本市の国土基本図については、平成17年度に作成したのとなっているが、北関東自動車道及び佐野SAスマートチェンジとその周辺道路が新たに開通し、さらに田沼北土地地区画整理事業が完成するなど、土地利用が大きく変化している。今後の各種計画や事業の実施にあたっては、現在の基本図を基礎資料としていくことには大きな支障があるため、平成26年度より修正作業が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・現在の国土基本図は、デジタル化による統合型GISシステムとして全庁的にデータの活用が図られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・既に、一部で都市計画法の用途地域や道路計画が変更されており、最新の地図を求める意見が寄せられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	・平成26年度からの事務事業のため対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・適正で正確な土地利用を推進するための基礎資料となるものであり、全庁的にデータの活用が図られるため、市民サービスはもとより行政の効率化等、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・本市の様々な事業への活用や計画推進に役立てるものであり、また、自治体の行政区画を正確に把握し、地図を作成することは全庁的にも必要であり、市民にとっても利用価値の高いものであるため、市が実施する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・現在ある国土基本図を修正し、新たに最新情報を反映した基本図を作成することから対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・基本図すべての地図を全面的に調査・見直す必要があり妥当である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・地図作成の業務委託は、膨大な人件費と事務量があり、業務委託として妥当である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・地図作成作業であり、受益者は特定されない市民であるが、地図取得希望者に対しては、適正な販売価格を設定して負担を求めている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
・地図作成及び印刷により、平成27年度で事務事業は終了となる。 ・ただし、今後も国土基本図は、定期的な修正が必要である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					